



語り合う

生命誌の広場

中村桂子の
ちょっと一言

ラボ日記

表現スタッフ日記

さまざまな交流

生命誌のこれからを
考える

生命誌の広場

テーマ別に投稿を読む

- 中村桂子の「ちょっと一言」▶
- 研究について▶
- 季刊「生命誌」▶
- 展示・映像▶
- その他▶

あなたの考えをお聞かせください

ご意見はこちらから

最新のお返事

- 2019年10月02日
[RE:アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月26日
[アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月13日
[原爆について](#)
- 2019年09月05日
[BRHメールマガジン vol.363 新着情報](#)
- 2019年08月28日
[この夏一番元気だったものは？](#)

最新のご意見

- 2019年09月27日
[RE:アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月25日
[アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月09日
[原爆について](#)
- 2019年09月05日
[BRHメールマガジン vol.363 新着情報](#)
- 2019年08月23日
[この夏一番元気だったものは？](#)

過去の書き込み

2019年 10月
GO

みなさんからのご意見

季刊「生命誌」

音のいのち

投稿日：2018.06.27 ニックネーム：Deco

先日の地震ですが、大きな被害がなかったとのこと安心しました。

季刊「自然誌」97号の森 悠子さんとのトーク、楽しく読ませていただきました。音の”いのち”はどこから？と問い続けられ、見つかったようで見つからない。私には本当難しいことはわかりませんが、生き物には、どんな小さなものにも五感があり、その五感を使って敵からの危険を感じたり、仲間との楽しさを感じたりして、生きているのだと思います。私は野山などを歩くのが好きで、風の音、木々の葉の風に揺れる音、鳥たちのさえずり等を耳にしなが、楽しんでます。また、クラシック音楽や歌謡曲にも、いい音楽はいいですね。心が和みますネ！

お返事

投稿日：2018.06.28 名前：中村桂子館長

季刊誌を楽しんでいただけてとても嬉しいです。私もあまり難しいことを考えずに音楽を楽しむのが好きです。最近は、体全体で楽しみたいなど、ピアノに向き合っています。

展示・映像

RE:細胞展

投稿日：2018.06.22 ニックネーム：ミッキー

なるほど、壁にあるいろんな細胞パネルも含めて見て、この部屋は“私の身体だ”と気づくと、より深く楽しめますね。研究館に行って、いろんな展示を何度も見て、館に漂う生命誌の穏やかな世界を感じるのが好きです。有難うございます。

お返事

投稿日：2018.06.28 名前：中村桂子館長

館に漂う空気を感じていただくのが一番ありがたいことです。またいらして下さい。

展示・映像

細胞展 いいね！

投稿日：2018.06.21 ニックネーム：ミッキー

心配していましたが、地震の大きな被害はなかったとのこと安心しました。

去年のサマースクールで表現のチームに参加させて頂きました。展示のアイデアを形にするのは大変でしたが、本当に楽しい価値ある体験でした。有難うご



新着情報



[10月19日生命誌オープンラボ \(19.10.01\)](#)

[10月4、5日 生命誌を考える映画鑑賞会\(19.10.01\)](#)

[昆虫脳の標本展示が登場！\(19.10.01\)](#)

[パラパラめくる生命誌3ダウンロード開始\(19.10.01\)](#)

[あくあびあ芥川とスタンプラリー開催\(19.10.01\)](#)

ございました。以来、展示を見たら、いろいろ苦勞して丹精込めて創られていると感じるようになりました。今の展示で私のお気に入りには細胞展の部屋です。アーチ型の壁に囲まれて、中央のテーブルに座ると細胞の世界の中にいるような気分になります。テーブルの楕円曲面のスクリーンに投射される細胞の中の驚くべき世界の映像は、曲面効果で心持ち浮かび上がっているかのようです。それを、横に座って間近で見ると迫力があります。圧巻は、細胞外に放出されるシグナル物質の光の粒が、本当に飛び出して足元に広がる瞬間です。一体どんなふうにして作られているのでしょうか？ 大人も子供も楽しめる、一味違う対話型のアトラクションですね。

細胞展、いいね！

お返事

投稿日：2018.06.22 名前：中村桂子館長

細胞展は今年新展開をして皆さまに御自身が細胞でできていることを実感していただきたいと思っておりますので、楽しんで下さっていると書きいただき嬉しくなっています。研究館全体をそのような場にしたいと思っています。



中村桂子の「ちょっと一言」

大切な命

投稿日：2018.06.20 ニックネーム：J・H

先日の地震心配いたしましたでしたが、大きな被害もなく平常どおりの開館とのこと安心いたしました。一安心いたしましたところで私も平常どおりのメールを送らせていただきます。

「最初の質問」という絵本の中に

今日あなたは空をみあげましたか。
空は遠かったですか。
近かったですか。
雲はどんなかたちをしていましたか。
風はどんな匂いでしたか。

とあります。何気ない日常の風景ですが、改めて空の色を、雲の形を、風の匂いを感じると、新鮮な気持ちになり、いろいろなことに気付かされます。その時ふと、小さな子供たちにも日常の風景の中の生き物に気付き、興味を持ってほしいと思いました。

押し付けるのではなく、遊びながら共感する喜びを親子で味わえる、そんなものがないかしらと考えてみました。

たとえば、「身のまわりの小さな生き物カルタ」です。アリやチョウ、トンボやセミ 市販のものがあるかもしれませんが “生きている” に着目して命の大切さを感じることが出来るカルタもいいかなと思いました。

ブロックの倒壊で亡くなられた女の子。しかも、小学校のブロック塀なんて悲しすぎます。未来ある子供たちの命が大切にされる社会でありますよう考え続けたいと思っています。

お返事

投稿日：2018.06.21 名前：中村桂子館長

今とても大事なことは小さな子どもたちが生きものとしてのびのび暮らせる社会を残すことだと思っています。権力を持つ人たちが進めている方向はまったく違いますので、一人一人がどちらを選ぶのかというところにいるのではないのでしょうか。



その他

地震・被災 お見舞い

投稿日：2018.06.19 ニックネーム：相模のラクダ

【このメールもいつ御覧いただけるか . . . ですが】
地震の物理的な被害や、展示物の落下・損傷など、何某かの被害があったと思います。まずは、被災お見舞い申し上げます。展示物や、博物館内の インフラ

など、研究館の再開に日数がかかるかもしれませんね。私は、現地（高槻）には行けませんが、何か再開のお手伝いなど、微力ながら協力出来ること・お困りのことがあれば、ご遠慮なくお伝えください。余震にもご注意いただき、早期の平常再開を願っております。

お返事

投稿日：2018.06.19 名前：中村桂子館長

お見舞いありがとうございます。自然の力には圧倒されますが、おかげさまで大きな被害はなく、今日（19日）も開館できました。皆さまにいらしていただけることありがたく思います。

その他

大阪北部地震 お見舞い申し上げます。

投稿日：2018.06.18 ニックネーム：竹ちゃん

今朝の地震、東京に住む私も感じました。ちょっとした揺れでしたので心配もしませんでした。ところが、ラジオ聞いていて被害の大きさに驚いています。高槻市は、震源域で被害も大きいようですね。小学校3年生の女の子が、学校のプールの壁に挟まれて亡くなったという話を聞きました。校庭で遊んでいて地震の揺れに遭ったのかと思いましたが、写真を見ると道路側に倒れ、通学中の児童が犠牲になったのでしょうか。保護者の心情を考えるといたたまれなくなります。また、学校長の心情も、担任の心情も想像に余りあります。生命誌館は、展示物が多いので被害を心配しております。月曜日は、休館日でしょうか。開館時間帯ではなかったので見学者はおられなかったのでしょうか。生命誌館の役割りがますます重要になっています。被害の少ないことを、復旧の早いことをお祈りしております。夏休み中には、大阪市内の研究会に参加します。その折に伺いたいと思っております。

お返事

投稿日：2018.06.19 名前：中村桂子館長

お見舞いありがとうございます。思いがけないことでしたが、おかげさまで大きな被害にならず、休館もなしにすみしました。阪神淡路大震災の時高槻に活断層があることを知ったのですが、それでも普段は地震のことなど考えずに過しています。自然との向き合い方を考えると言いながら難しいことだと思えます。またいらして下さい。

展示・映像

人ゲノムとグレーの御髪の素敵な科学者

投稿日：2018.06.17 ニックネーム：ごん

6/16に念願の中村先生の講演に参加しました。その後に生命誌の展示を分かりやすい説明と疑問をその場ですぐに答えてくださる楽しさを体験させていただきました。38億年からのずっと体の中に伝わる細胞・・・宇宙に一つしかない一人に感動し、それを受け継いでバトンを次の世代に渡す責任も感じました。傲慢な人の生き方、豊かな自然を大事にすることを考えました。自然の中で子育てしにくい都会生活。意識しないと触れたりすることも少ない現実。点数とり優先、大学に行くのが目的？もっと若い時に話を聞いていたら、子育てが楽になっていたかもしれません。女性に授業必須ですね。また、お話を聞かせていただきます。ありがとうございました。

お返事

投稿日：2018.06.19 名前：中村桂子館長

研究館にいらしていただきありがとうございます。館の活動をよく知っていただくために皆が努力している年に二日のオープンラボで、楽しんでいただけてとても嬉しいです。日常も、御案内をするなど努めておりますので、またお時間をつくっていらして下さい。



中村桂子の「ちょっと一言」

RE:一体感

投稿日：2018.06.13 ニックネーム：ミッキー

昨日、ある大学の人工光合成研究の進捗を聞きました。文科省の支援プログラムでもあるらしいです。エネルギー危機対応のために重要な研究であるのは納得しますが、その中でポロっと出てきた話が驚きでした。原子炉廃炉処理の責任の所在は、400年間は企業が持ち、その後1万年は政府が持つらしいです。耳を疑いました。完全な責任逃れです。ひどい。

お返事

投稿日：2018.06.14 名前：中村桂子館長

エネルギーの問題は、面倒なことがたくさんありますね。人工光合成ができると本当にありがたいですが、一方で自然に行なわれている光合成を大切に暮らしかをすることも大切ではないかと思っています。森や林や畑や田んぼ・・・これらを上手に生かして暮らすというあたりまえのことですけど。



中村桂子の「ちょっと一言」

“自然との一体感”日常で感じたい

投稿日：2018.06.10 ニックネーム：ミッキー

(長くてすみません)

中村館長のご公演で紹介された「知の構築とその呪縛」を読みました。科学の進歩の過程で失われたものがあり、当たり前とっていたことが常識という呪縛であったことを知りました。どうしたら自然との一体感を自分が実感できるようになるのか考え始めました。一汁一菜のお話は、その一体感に溢れていると感じ、さらに旬の食材を活かし、湧き水を求め、糠床を育てる様子は、まるで生き物や自然とお話されているかの様に思えました。ふと、自然と会話することが一体感を育てることになるかも知れないと思に至りました。私は元コンピュータ技術者で、20年来家庭でささやかに野菜を作っています。今夏もミニトマトやバジル、モロヘイヤ、甘長シシトウやゴーヤなどです。早朝に野菜の成長を眺め、葉の様子で元気度を感じたり、ゴーヤや朝顔のツルが一日に10cm程も伸びるのを観て、動いていると感じたりするのが好きです。ふと、こういう事が自然との会話になっていると気がつきました。会話といってもそれは「観て、聴いて、感じて、思う」事です。そうする事で、生きものや自然と心を通わせ、愛おしみ、日常の中で一体感を育てる。これを私流のやり方として実践してみようと思います。なんだか穏やかな気持ちになれます。ご公演や本の内容は奥深く理解はまだまだですが、生命誌を学ぶのは楽しいです。“ちょっと一言”を楽しみにしています。

お返事

投稿日：2018.06.12 名前：中村桂子館長

大森先生をお読みにになったとのこと。素晴らしいです。私は哲学という学問は苦手なのですが、大森先生の本は難しいけれどよくわかるという感じで好きなのです。権力をもつ人が勝手なことを始めると社会は間違ってくるように思い、なんとかかふつうの暮らしを楽しめる社会になって欲しいと願っています。



季刊「生命誌」

BRH cards 97号

投稿日：2018.06.09 ニックネーム：はやぶさ2

心待ちの「97号」が、2～3日前に届きました。ありがとうございます。号を重ねる毎に工夫されていると感じられ、関心しております。今回も、盛沢山の内容で、興味深く、拝読させていただきました。①RESEARCH 01、02の内容(光の受容体)は、専門外の方にも、「イラスト」付きで、視覚的にわかりやすく、また、優しい解説文で、「ほほ～、な～るほど」と、そのBioシステムや、生物の仕組み・発達進化に驚きました。②ラボからの論文：「ハエとクモ、そしてヒトの祖先を知ろう」が、[Developmental Biology 437号]の表紙に選ばれたことについて、「祝意」を表します。おめでとうございます。内容の濃い地道なご研究成果が実ったのでしょうか！③Carsの、最初に入っていた「長岡京室内アンソブル音楽監督：森さんとの対談」は、女性同士で、裏話にも「花」が咲いたのでは・・・？。その他数々の面白い内容もgoodで、最後の

「紙工作」も楽しませていただきました。毎回何かの企画・工夫が素晴らしいですね。今後も、面白い内容をお願いします。では、これから、暑くなりますが、館長様、スタッフの皆様、お体ご自愛ください。

お返事

投稿日：2018.06.12 名前：中村桂子館長

季刊「生命誌」を楽しんで下さっている様子が眼に浮ぶ文に、とても嬉しくなりました。ありがとうございます。次の号を皆で考えるのが楽しい（大変でもありますが）。その思いを共有して下さることが生命誌を支える力だと思っていますので、これからもよろしく願いいたします。

季刊「生命誌」

季刊生命誌WEBフォームより

投稿日：2018.06.07 ニックネーム：あいこ

高校で生物の教員をしており、生命誌の情報で面白いと思うものをピックアップして生徒に伝えることもあります。送られてくるペーパークラフトを実験室に時折飾ることもあります。いつも、ありがとうございます。

お返事

投稿日：2018.06.07 名前：中村桂子館長

高校の教育に活用していただくことは、私たちの願いでもあります。ありがとうございます。これからもよろしく願います。

お返事

投稿日：2018.06.28 名前：表現を通して生きものを考えるセクター・平川

ペーパークラフトは、最新の文献情報なども入れて、出来たての科学をお届けしています。考えるきっかけになればと願っています。

季刊「生命誌」

季刊生命誌96号ハガキより

投稿日：2018.06.07 ニックネーム：宮沢賢治の会

神戸宮沢賢治の会の会員です。私達は有志で白つめくさという影絵劇団をつくり、神戸市内の児童施設などで、賢治の童話を影絵劇にして、上演しています。生命誌の記事は賢治の希求した科学と人間の幸福を目指す方向と一致するものとして、いつも専門に研究する先生方の学問成果に興味をもって読ませていただいています。機会があれば、館で影絵を上演する機会があればとも思います。

お返事

投稿日：2018.06.07 名前：中村桂子館長

生命誌の映像、「水と風と生きものと」でも宮澤賢治と生命誌のつながりを探っています。この映画の短編を館内で上映していますので観にいらして下さい。

お返事

投稿日：2018.06.28 名前：表現を通して生きものを考えるセクター・村田

「小さな谷川の底を写した二枚の青い幻燈です。」コメントを拝見して『やまなし』の冒頭の一節を思い浮かべました。影絵という表現には不思議な魅力がありますね。賢治の童話には、科学への信頼と、自然への恐れが、幸せに共存しています。「サウイフモノニ ワタシハナリタイ」と生命誌としては思います。

季刊生命誌96号ハガキより

投稿日：2018.06.07 ニックネーム：まるまる

生命誌のケースや組み立て説明図を楽しんでいます。これはwebでは感じることでできない楽しみなので、ぜひ続けて欲しいです。（有料になっても申し込みたいと思っています）以前、大学の図書館に居たとき、組み立ててカウンターに飾っていたら、興味を示してくれる学生が居て、会話のきっかけになりました。館長からの手紙も楽しく読ませていただいています！いろいろとありがとうございます！！

お返事

投稿日：2018.06.07 名前：中村桂子館長

カードとWEBと本の組み合わせは発信する側としてもそれぞれの特徴を生かせる興味深さがあります。

お返事

投稿日：2018.06.28 名前：表現を通して生きものを考えるセクター・平川

ケースは毎年テーマにあわせて形を考え、手に取った時の手触りや開いたときをイメージして紙を選びます。たかが容れ物ですが各号を象徴するポイントなので、お楽しみいただけると嬉しいです。

季刊生命誌96号ハガキより

投稿日：2018.06.07 名前：生命誌カード読者さん

昆虫に関心があります。特に昆虫化石が好きです。生命の進化の流れで昆虫の生育はなぜがまだまだ多いようです。生命誌研究館にはじめて行きました。今後、季刊生命誌を送付してください。よろしく願います。

お返事

投稿日：2018.06.07 名前：中村桂子館長

昆虫は本当に多様で、次々新しいことが出てきますね。面白いことがありましたら、是非投稿なさってください。

お返事

投稿日：2018.06.28 名前：表現を通して生きものを考えるセクター・齊藤

昆虫たちの多様な生き方はとても魅力的ですが、その進化の根っこは明らかになっていない部分が多いようです。生命誌のアーカイブにも、昆虫化石に関する記事がありますので、ぜひご覧ください。

[季刊「生命誌」通巻6号 虫入り琥珀の世界](#)

[季刊誌「生命誌」通巻24号 昆虫化石が語りだす](#)

季刊生命誌96号ハガキより

投稿日：2018.06.07 ニックネーム：ワクワクおばさん

教員退職後も参加しているサークルのメンバーに「生命誌研究館」の事を紹介され、施設と館長の考えに興味をわき、ついに昨夏、京都への帰りに汗をふきふき「生命誌研究館」をたずねました。閉館まで時間がなく、館内をサッと一順しただけでしたが、生命を大極的にとらえた展示に、今までの科学館等とは異なるものを感じました。さっそく「生命誌」の送付をお願いしました。毎回、楽しみにしています。毎号、生命をミクロの目でリサーチし、それを生命の起源と進化に結びつけて探求する研究者の成果を興味深く読ませていただいています。今、100号の「共生細菌が生み出すゾウムシの硬い外骨格」は日頃、目

のかたきにしているバラゾウムシの体の中でこんなことが起こっているのか、しかもこれが1億年以上も前にスタートしたことを知り、ちょっとバラゾウムシを見る目が変わりそうです。平和でない文化は育ちません。「容」、納得です。

お返事

投稿日：2018.06.07 名前：中村桂子館長

御来館ありがとうございます。細胞の部屋などその後新しい挑戦をしていますのでまたいらして下さい。

お返事

投稿日：2018.06.28 名前：表現を通して生きものを考えるセクター・川名

2018年12月に登場した、細胞の部屋の新しい映像はからだの中の細胞がいったい何をしているのか細胞の言葉で語る作品です。毎月第三土曜日は催しを開催していますのでご来館にオススメです！

季刊「生命誌」

季刊生命誌96号ハガキより

投稿日：2018.06.07 名前：生命誌カード読者さん

ずーと楽しんで読ましていただいています。ラボにも行かせていただき、勉強になりました。次は息子に継いでもらえたらと思います。（まだ1才ですが・・・）

お返事

投稿日：2018.06.07 名前：中村桂子館長

是非またいらして下さい。やはり研究館にいらしていただくのが一番嬉しいので。

お返事

投稿日：2018.06.28 名前：表現を通して生きものを考えるセクター・中井

季刊生命誌を読んでくださりありがとうございます。これからも楽しく読んでもらえるお話を届けられるよう頑張ります！生命誌研究館の展示はちいさなお子さまが楽しめるものも沢山ありますので、またお子さまとも一緒にいらして下さい。

季刊「生命誌」

季刊生命誌96号ハガキより

投稿日：2018.06.07 名前：K. S

貴誌「生命誌」からはいつも最新の情報を頂いております：IP3がCa²⁺ストアを放出する濃度上昇から更に「自己再生的」な働きを持つこと・・・、Deborah Kelley 07'による40億年前大西洋底の90℃の熱水アルカリ噴出口を示す興味深い図式など・・・更にクロカタゾウムシに内部寄生するナルドネラの新しい共生関係の知見を与えられ、感謝しております。

お返事

投稿日：2018.06.07 名前：中村桂子館長

情報はたくさんあるのですが、そこから物語りを生み出していくことに努めています。それを感じとって下さっていることありがたく思います。

お返事

投稿日：2018.06.28 名前：表現を通して生きものを考えるセクター・川名

目には見えない小さな分子のふるまいがによって「生きている」が支えられていることや、はるか遠い昔から続く生きものの歴史など、日常とは違う視点で世界と自分を見つめると新しい扉をひらくようなワクワクした気持ちに私はなります。またぜひ感想をお聞かせください。

季刊「生命誌」

季刊生命誌96号ハガキより

投稿日：2018.06.07 名前：K. F

- ・こども（娘）たちと紙模型などを見て話したりしています。
- ・個人的には対談の記事に興味あります。
- ・演劇活動をしていて、“生命”をテーマにした作品に取り組んでおり、とても参考にさせてもらっています。

お返事

投稿日：2018.06.07 名前：中村桂子館長

私たちも表現の一つとしての演劇に関心があります。お仕事のことをまた書き込んで下さい。

お返事

投稿日：2018.06.28 名前：表現を通して生きものを考えるセクター・村田

「わかったことを伝える」のではなく、「わからないところも含めて丸ごと感じていただくものにする」のが表現をすることだと、思います。そういうものをこれからも目指します。いただいたコメントを読んで、そんなことを改めて思いました。

季刊「生命誌」

季刊生命誌WEBフォームより

投稿日：2018.06.07 ニックネーム：藤田

植物療法を学び、カフェ、ショップを営んでおります。
植物のチカラを多方面から知ることが出来、とても役にたっています。
植物も人間も異種同士でチカラを分かち合い生きているのだと思います。
未知の世界への好奇心がやみません。

偉大な先生方の様々なお話、とてもワクワクしています。

これからも植物を介して人々のこころと身体をサポートしていきたいです。

お返事

投稿日：2018.06.07 名前：中村桂子館長

昨日、植物から精油を抽出し、アロマセラピーを始めている稲本正さんとお話をしたところ。植物のもつ力、本当にすごいですね。

お返事

投稿日：2018.06.28 名前：表現を通して生きものを考えるセクター・齊藤

私たち動物と全く違う発想(?)で生きる植物は、私たちが生きられる環境をつくってくれている存在でもあります。茂った木立のしたにいると穏やかな気持ちになったりするのは不思議ですね。植物と人のこころのつながり、これからもぜひ教えてください。

季刊「生命誌」

季刊生命誌96号ハガキより

投稿日：2018.06.07 名前：M.M

いつも生命誌をありがとうございます。新しいことを知ることができ、仕事にも生かせるので、毎号楽しみにしています。

お返事

投稿日：2018.06.07 名前：中村桂子館長

お仕事に生かしていただけるのはとても嬉しいです。

お返事

投稿日：2018.06.28 名前：表現を通して生きものを考えるセクター・齊藤

日々、新しいことにわくわくしながらお仕事を楽しんでいらっしゃる様子が目に浮かびます。ありがとうございます！

季刊「生命誌」

季刊生命誌96号ハガキより

投稿日：2018.06.07 ニックネーム：ハル

自分の勉強資料とさせていいただいているほか
・別世帯の子供達に伝える（二人、既婚）
・自治会活動を通じて若いお母さんなどに伝える。
・主人の仕事（僧侶）の法話の中で紹介する。その他
といった形でありがたく活用させていいただいています。

お返事

投稿日：2018.06.07 名前：中村桂子館長

とても素敵な使い方をして下さっていて、こちらこそありがとうございます。法話と生命誌のつながりも楽しいですね。

お返事

投稿日：2018.06.28 名前：表現を通して生きものを考えるセクター・齊藤

仲良しの皆様でわいわい楽しんでいただいている様子を想像し、とっても嬉しい気持ちになりました。ありがとうございます。ご主人の法話をぜひ一度お聞きしてみたいです！

その他

年刊号

投稿日：2018.06.06 名前：橋本 圭隆

只今、最新の年刊号はどの書籍でしょうか。
教えてください。

お返事

投稿日：2018.06.11 名前：表現を通して生きものを考えるセクター・川名

最新の年刊号は2017年10月15日発行の『ゆらく』（新曜社）です。
<http://www.brh.co.jp/seimeishi/annual/2016/>

中村桂子の「ちょっと一言」

百歳の細胞

投稿日：2018.06.06 ニックネーム：やっちゃん

百歳を超えて生き生きと活動されていた方たちに共通していることは、次の目標にワクワクしながら取り組まれている姿でした。このワクワク感は、皆さん共通の事なのでしょうが、私には「細胞が喜んでいる」と感じられます。生きも

のとしての感覚なのかな、とも思います。喜びを全身で表現することやメロディに耳を傾けるなど外の世界とのつながりを意識することは歩き始めた頃からの身体感覚として備わっているようです。誰に教えられたものでもない、自然に備わっているように思えるものを、長寿者と乳幼児のどちらにも感じます。これは細胞の記録でしょうか？

お返事

投稿日：2018.06.12 名前：中村桂子館長

私が喜んでいる時には私の細胞も喜んでいるだろう。そんな感覚は確かにありますね。最近、コンピュータでつくられる仮想の世界がどんどん派手で賑やかになってきていますが、私はどうもそれが苦手であり現実がよいなと思っています。

季刊「生命誌」

生き物はすべて1つの細胞から

投稿日：2018.06.03 ニックネーム：Deco

私が中村桂子先生を知ったのは、図書館で「いのち愛づる姫」を読んでから生命誌を知りました。考えてみたら、みんな38億年前は同じだったんですね。しかし、人類は大型の脳を持ったため、いろいろなことを発見し、進歩してきました。そして欲望も大きくなって争い、他を受け入れる心が薄れてきているように感じます。

季刊生命誌96号から送っていただきました。よし賀徹先生との対談「徳川日本の文明に学ぶ」から、日本の文明、文化が華開いたのは江戸時代だと感じ、今、問題になっている環境のことも江戸時代を参考に行動しなくちゃ、思いました。

お返事

投稿日：2018.06.06 名前：中村桂子館長

「いのち愛づる姫」をお読み下さったとのことありがとうございます。最近同じ出版社から「いのち愛づる生命誌」という本が出ましたので、そちらも読んでいただけるとありがたく思います。ちょっと図々しいお願いですが。

「進歩」について、今考えます。そろそろ人間の社会活動も「進歩」ではなく「進化」の方へ移ってもよい時ではないかと思ひまして。いかがでしょうか。

その他

書架の入れ替え中です

投稿日：2018.06.01 名前：橋本 圭隆

尼崎市尾浜町1丁目。尾浜橋本セントラル 橋本耕三記念塾の書架の入れ替え中です。六月末までです。 お誘いあわせの上起こしください。

▲ ページの先頭へ

サイトのご利用について | プライバシーポリシー | サイトマップ | アイアポリシー | サイトマップ

BRH JT生命誌研究館
〒569-1125 大阪府高槻市紫町1-1 TEL:072-681-9750 (代) FAX:072-681-9743

copyright © JT Biohistory Research Hall 2012.